

出前講座

多文化共生を考えるきっかけに

学校に講師を派遣します

京都府国際センターでは、府域で展開する多文化共生を促進するための様々な取り組みの一つとして、学校を対象とした出前講座を実施しています。ぜひ、ご活用ください。

多文化共生

国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

教職員、PTA

「やさしい日本語」を学校現場に！

普段から、児童生徒が理解しやすい言葉を使用されている教職員の方にとっては習得が容易です。

- (1) 通訳、翻訳前に「やさしい日本語」を使うと…
日本語における双方の誤解が減り、**誤訳を減らせます。**
情報の取捨選択により文字数が減り、**翻訳料を抑えられます。**
- (2) 日本語を母語としない児童生徒、保護者に対しては…
伝わる情報量が増えます。

やさしい日本語とは

普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。最近では、災害時以外の生活情報の発信において自治体などによる利用も広がってきており、学校現場でも保護者へのお知らせ文、外国につながりをもつ児童生徒への指導において、その活用が期待されています。

例：保護者に三者面談について知らせる時
「お忙しいとは存じますが、一度学校の方へ来て頂けるとありがたいのですが・・・」
→ 「●月●日▲時に、学校にきてください。とても大切です。高校の話をししましょう。(生徒名)くんもいっしょです。」

会場

依頼者で確保をお願いします。
当センターの会場を無料でお使い頂くことも可能です。

対象

府内の公立小学校、中学校、府立高等学校、PTA等。
(府立高校への派遣と CIR の派遣は京都市含む)

児童生徒（小学生～高校生）

異文化理解に留まらない
多文化共生を考えるきっかけに！

- (1) 国際交流員（CIR）を派遣します。

サンドラ・アラジ(京都府国際センターCIR)
フランスのパリ出身です。
子どもたちとの交流を通して、異文化に触れ合う機会を作ります。これからのグローバル社会の中、子どもたちが国際的な道を歩むきっかけになればと思います。
学校訪問の機会を通して、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

- (2) 教材を貸し出します。

ゲームを使って言葉がわからない体験をし、すべての人にとって暮らしやすい地域を考えるためのきっかけを提供します。

教職員・児童生徒 共通テーマ

「京都府の外国人住民と多文化共生」

統計などの資料を元に府内の外国人住民の状況をクイズ等でわかりやすく解説します。



費用

原則、無料。
但し、派遣者によって負担をお願いする場合があります。

申込

実施希望日の**1か月前**には、お申し込みください。
申込様式は、お問い合わせを頂いた後、Emailでお送りします。

お問い合わせ先



公益財団法人

京都府国際センター

TEL : 075-342-5000 FAX : 075-342-5050
Email : main@kpic.or.jp URL : www.kpic.or.jp
〒600-8216 京都市下京区メルパルク京都地下1階